

上北教育事務所だより

Vol.46

令和5年6月30日

〒039-2593 青森県上北郡七戸町字蛇坂55-1 TEL 0176-62-2128 Fax 0176-62-2130 E-mail E-KAMIKITA@pref.aomori.lg.jp

「多様性への理解」と「人財の育成」により組織のレジリエンスを高める



所長
花田 千穂

教育事務所2年目となりました花田です。今年度も、5月から所長訪問を実施させていただいております。各学校の現状や取組を説明いただき、実際に指導に当たっている先生方の姿、児童生徒の真剣な眼差しや、グラウンドを元気に走り回っている姿を見ると、日頃の先生方の児童生徒への愛情や熱意が実感できて、とても安心した気持ちになります。

これから、本県は、新しい知事や教育長を迎え、新しい体制の下で施策が展開されることとなりますが、どのような時も、先生方の熱意と児童生徒の笑顔を忘れずに進んでいきたいと思っております。今年度もどうかよろしくお願いいたします。



次長
泉 毅知

昨年度は、所長訪問等で大変お世話になりました。ありがとうございました。各校では、新型コロナウイルス感染症に関する制約等が緩和され、ようやく子供たち中心の教育活動を展開できるようになってきたのではないのでしょうか。多様な個性や特性を持つ子供たちを育てるためには、全てのスタッフがそれぞれの強み（個性や専門性）を生かして教育活動に取り組む必要があります。共に頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

総務課

今年度もよろしくお願いいたします

教育課



総務課長
村上 望



主査
阿保 和也



教育課長
依藤 晶



主任指導主事
豊川 るみ子



主任社会教育主事
千葉 哲也



主事
瀬川 圭祐



指導主事
田中 明希子



指導主事
相馬 葉子



指導主事
高屋 智寛



指導主事
丸井 大輔



社会教育主事兼指導主事
澤井 淳也

SSW (スクールソーシャルワーカー)

児童生徒を取り巻く環境に注目して、問題の解決を図る専門家です



吉田 紀美男



千葉 信親



向井 博



鳥谷部 敦生



沼山 重明

令和5年度 新規採用教職員辞令交付式 初任者研修「赴任時研修」



4月3日(月)七戸町柏葉館において、小・中学校教諭28名、養護教諭1名、主事1名が新規採用教職員として辞令を交付されました。

その後、初任者は初任者研修「赴任時研修」で、教員としての心構えや服務、福利厚生についての講義を受けました。日常にはない緊張感の中、やる気、落ち着き、真剣さに溢れた態度で臨んでいました。

初任者研修 拠点校指導教員

拠点校方式初任者配置校を訪問し、指導・助言にあたります。



三上 和一

三本木小
※十和田南小
三沢小
木内々小
東北小



内山 幸治

北園小
上久保小
※木崎野小
岡三沢小
木ノ下小



中田 孝幹

三本木中
※十和田中
三沢一中
野辺地中
七百中



米内山 誠毅

※堀口中
天間林中
木ノ下中
上北中
東北中

単独校方式初任者配置校

十和田東小 ちとせ小
百石小 下田中
十和田東中

※が拠点校です。

令和5年度子供の読書活動
優秀実践校・団体
文部科学大臣表彰 受賞

おいらせ町立
木ノ下小学校

十和田市 親子読書会
「わっこの会」

多様性の理解と人財の育成をねらいとして

4月25日(火)に中学校生徒指導専任教諭及び生徒指導主事研修会、5月16日(火)に小学校生徒指導担当者研修会を、公立小川原湖青年の家で開催しました。

中学校の先生方には、スクールカウンセラー 成田ひとみ氏から「こころの健やかさを育む～不登校予防プログラムの一環としての心理教育～」と題して、三沢市教育委員会と連携して行っている「不登校予防プログラム」の取組等についてお話いただきました。その後、生徒指導の課題と感じているテーマについてグループ協議を行いました。

小学校の先生方には、三沢市立三沢小学校 村上峰盛教諭から、「いじめ問題基幹研修」について「チーム学校」の必要性や法的な根拠等を説明いただきました。また、上北教育事務所スクールソーシャルワーカー 沼山重明氏から「特別な支援を必要とする児童理解と保護者への関わり方」と題し、児童や保護者を理解することの重要性をお話いただきました。

参加した先生方からは、「心理学の面からアプローチをすることを学校でも取り入れたい」「保護者対応の演習がとても参考になった」「レッテルを貼らずそのままの子どもを見られるようになりたい」などの感想が寄せられました。



木ノ下小学校は、読書コーナーを玄関ロビーに設置、学級文庫の配本やブックカードの活用など、児童が日常的に本を手にする環境づくりや毎月第一土曜日を「家庭読書の日」、冬休みに「親子読書の日」を設定し、家庭での読書を推進する活動が認められました。

「わっこの会」は、読み聞かせ会のほか、読書感想文の書き方講座や絵本作家を招いてのお話会の開催など、読書の奥深さに親子で触れる機会を創出する活動が高く評価されました。